

9月9日(金)からマスコミで報道されている豊洲市場の主要施設の下に地下空間が存在することについて、以下の通り東京都中央卸売市場 岸本市場長に抗議しました。

平成28年9月16日

東京都中央卸売市場
市場長 岸本 良一 様



豊洲市場の土壌汚染対策等に関する抗議

平素は、当協会の運営に関して格別のご指導・ご支援を賜り、御礼申し上げます。

さて、最近の新聞・テレビにおいて、「都は豊洲市場の土壌汚染対策として地表から深さ2mの土を除いた上で高さ4.5mの盛土をし、その上に建物を建てたと説明してきた。実際は、水産卸売場棟、水産仲卸売場棟、青果棟など主な建物の下は盛土がされず、床下が空洞になっていた。水産卸売場棟の床下には、地下から染み出たとみられる水がたまっていた。」等の報道がなされています。また、これらの報道によれば、豊洲市場の主要施設の設計は、専門家の意見も聞かずに東京都の独断でなされたとしています。

以上のことは私ども市場業界には知らされず、都民にも公表されませんでした。こうした信じ難いことを続けてきたことに強い衝撃と怒りを覚えるものです。また、私ども市場業界は「豊洲新市場予定地における土壌汚染対策等に関する専門家会議」による対策の検討と「豊洲新市場予定地の土壌汚染対策工事に関する技術会議」の技術・工法の評価を踏まえて、法令の求める水準を上回る手厚い対策をとるという東京都の安全・安心についての考えをこれまでずっと信じてきただけに、今回の事態は遺憾の極みです。

これらの事態に至った現段階で分かっている事実について、9月13日に貴職から説明を受けましたが、まだ不明の点が多く納得できるものではありません。こうした事態の原因の調査と今後の安全・安心の確保に向けた対応を早急に明らかにしていただかなければ、市場業界は今後の見通しが立たず混乱したままとなり、出荷者・小売業など市場を利用する方々及び消費者の豊洲市場に対する大きな不信感も払拭できません。

今回の事態をもたらしたことに強く抗議するとともに、豊洲市場の早急な信頼回復を求めます。